



公益財団法人 国際交通安全学会
International Association of Traffic and Safety Sciences

2025年11月27日 IATSS公開シンポジウム

2502A ジュニアシート使用率向上に向けた、交通安全情報発信の在り方の研究

ジュニアシート使用状況 調査結果報告

2025年11月27日(木)

(株)第一生命経済研究所

宮木由貴子

調査概要

- 調査名：ジュニアシートの使用状況に関する調査
- 調査対象：
 ① 小学生以下の子どもがいる全国の男女10,000人
 ② 子どもがない全国の男女3,000人
- 調査時期：2025年6月12日（木）～13日（金）
- 調査方法：インターネット調査（株式会社クロス・マーケティング）

調査項目

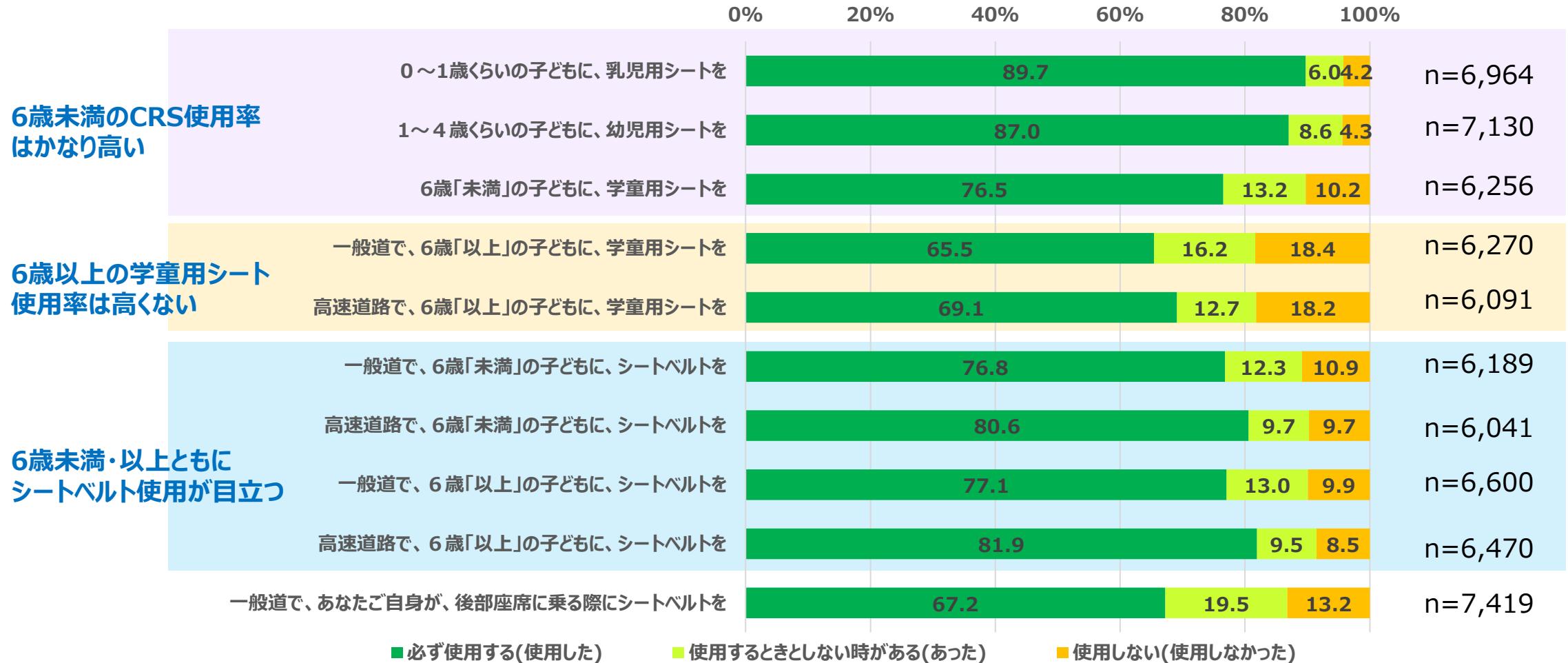
属性	自動車使用状況	CRS使用状況	情報
F1:性	Q1:運転免許有無	Q1:子どもを乗せて運転する人	Q1:車の運転や乗車時の安全に関する情報源と信頼性
F2:年齢	Q1-1運転目的	Q2:シート使用実態	Q2:インターネットで、車の運転や乗車時の安全性に関する情報を調べるときの方法と信頼性
F3:都道府県	Q2:自家用車保有台数	Q2-1-1:学童用シートを使用しない理由(6歳未満不使用者)	Q3:情報収集における不満
F4:地域規模	Q3:運転実態	Q2-1-2:どうすれば学童用シートを使用するか(6歳未満不使用者)	Q4-1:子どもに関する情報源①子育て一般
F5:同居家族人数	●運転頻度	Q2-2-1:学童用シートを使用しない理由(6歳以上不使用者)	Q4-2:子どもに関する情報源①安全関連全般
F6:息子・娘の年齢と同別居	→うち小学生以下を乗せての運転頻度	Q2-2-2:どうすれば学童用シートを使用するか(6歳以上不使用者)	Q4-3:子どもに関する情報源①自動車乗車時の安全
F7:職業区分	●1日あたり使用時間	Q2-3:学童用シートの使用理由(6歳未満使用者)	Q5:子どもに関する安全情報取得後の行動
F8:自身の年収・世帯年収	→うち小学生以下と一緒に使用時間	Q2-4:学童用シートの使用理由(6歳以上使用者)	Q6:自動車乗車時の子どもの安全について情報収集するきっかけ
	●1日あたり乗降回数	Q2-5:学童用シートの使用期間(6歳未満+以上での使用者)	Q7:学童用シートについて調べた経験の有無
	→うち小学生以下と一緒に乗降回数	Q3:学童用シートの適切な使用期間	Q8:学童用シートに関する情報収集における不満（調べた経験ありの人）
		Q4:子どもの安全と交通に関する実態・行動・家庭内啓蒙	Q9:子どもの安全に関する情報として見かける場所と効果
		Q5:学童用シートに関する意識・行動	Q10:自由回答
		Q6:学童用シートに関する課題	
		Q7:他人の子をシートなしで乗車させることへの意識	
		Q8:学童用シート義務化への意識	
		Q9:学童用シート義務化反対の理由(道交法での義務化反対者)	

アンケート調査結果①

CRS使用状況

乳児用シート
幼児用シート
学童用シート

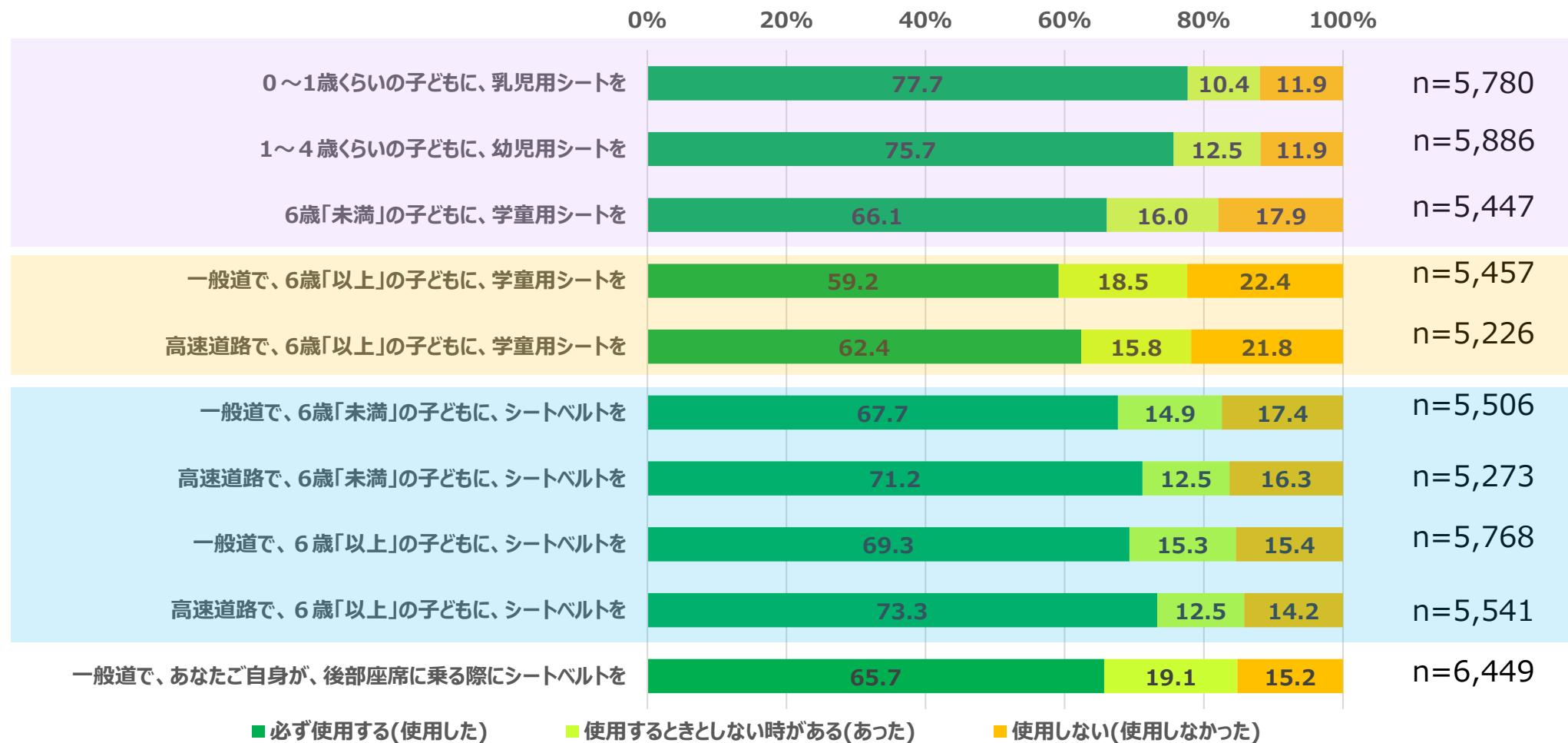
自家用車でのCRS使用状況



自家用車以外でのCRS使用状況

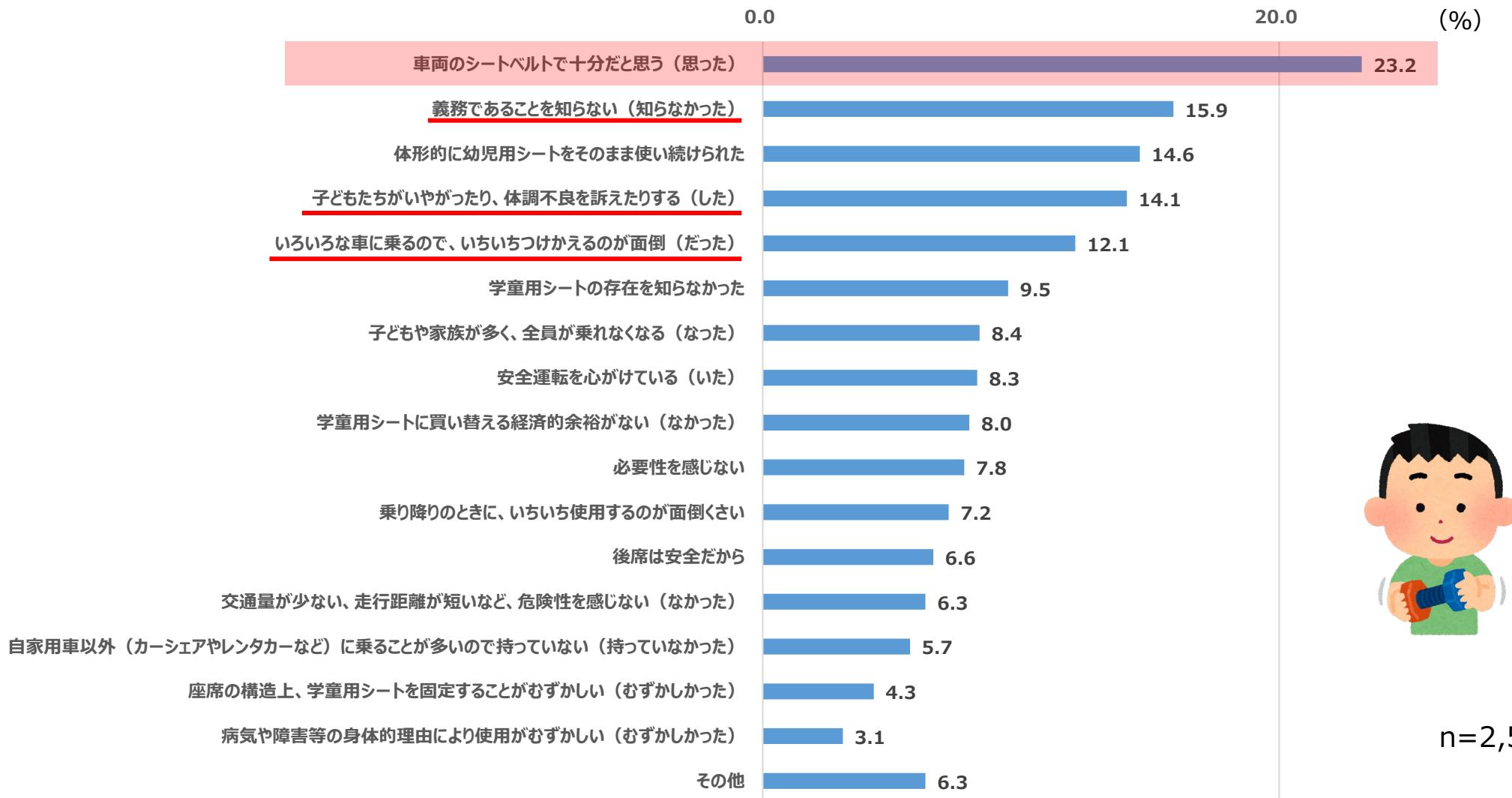
自家用車以外の使用となると、全体的にCRSの使用率は低下。

特に6歳未満の子の学童用シート使用は66.1%。



<6歳未満不使用者> 6歳になるまでの子どもには学童用シートが義務であるにもかかわらず、使用しない（しなかつた）理由 <複数回答>

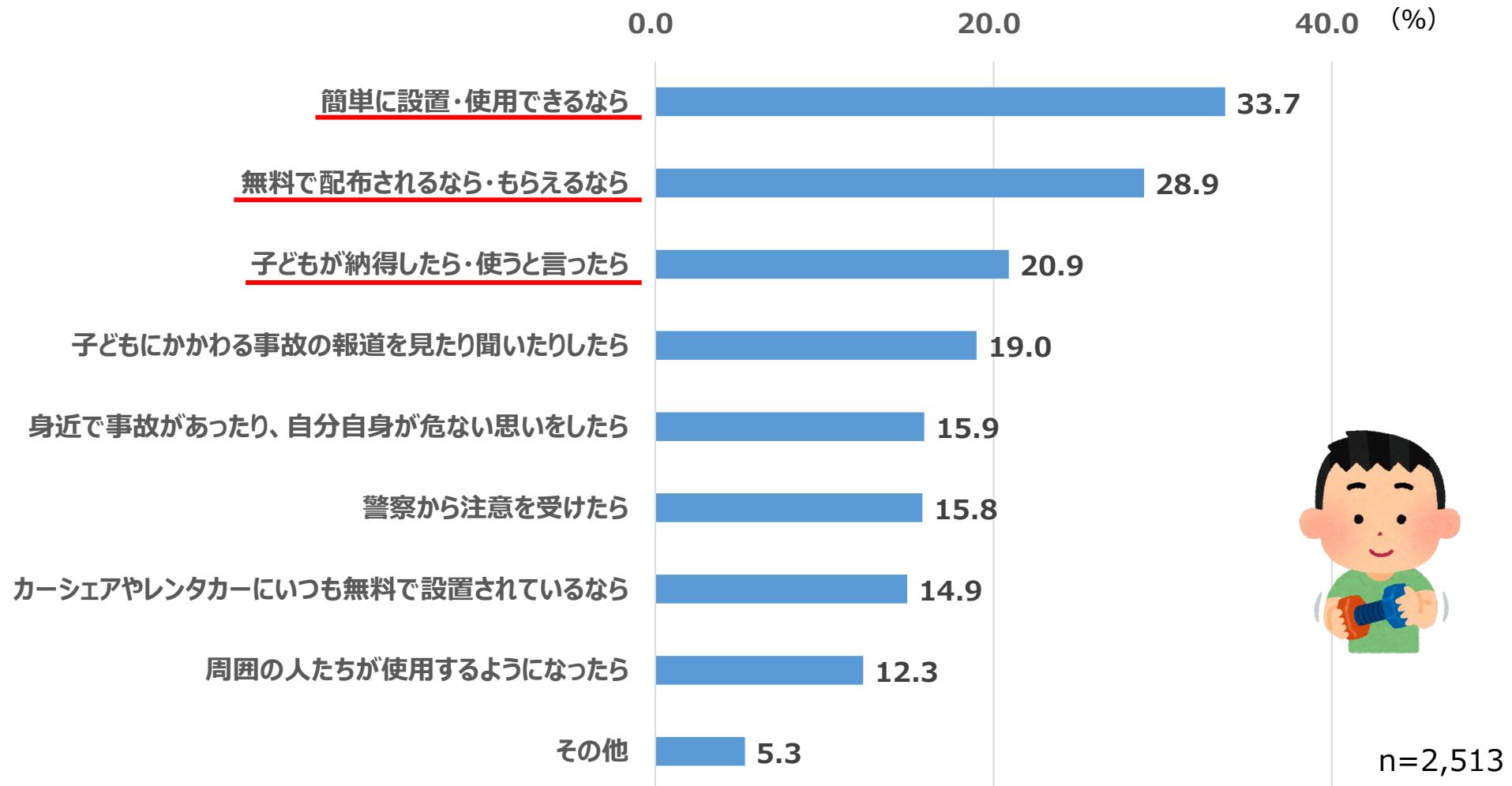
シートベルトへの過信が学童用シート使用を行わない理由として最多。義務であることの非認知も15.9%。



<6歳未満不使用者>どのような状況になれば、学童用シートを常に使用しようと思うか

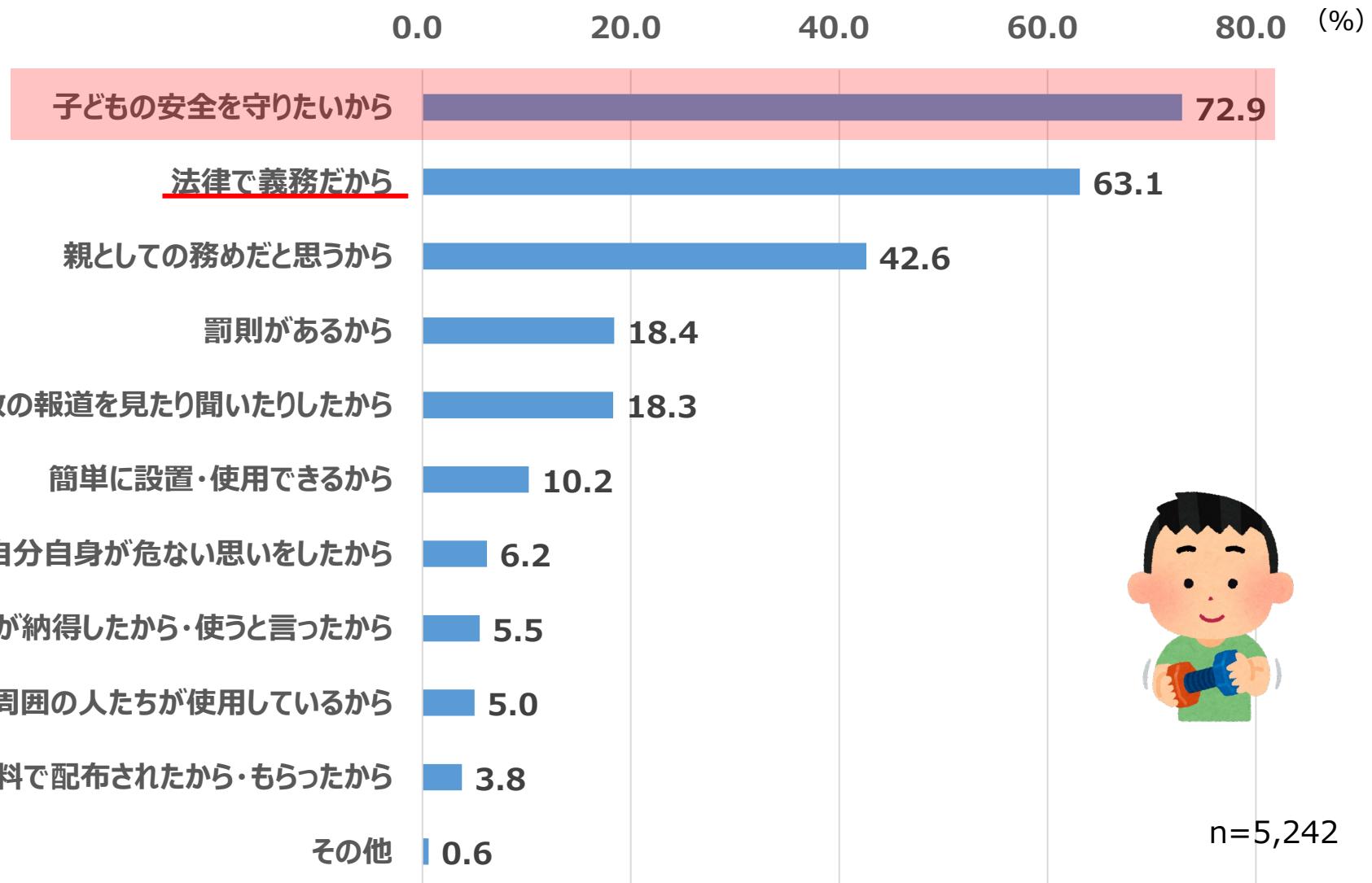
<複数回答>

設置の簡便性、無料配布が使用につながるとの意見。子どもの態度次第との意見も2割。



<6歳未満使用者>なぜ学童用シートを使用している（していた）のか <複数回答>

6歳未満の使用者は、義務以上に「子どもの安全を守りたい」意識が高いことが使用につながっている。



<6歳以上不使用者> 6歳以上の子どもに学童用シートを使用しない（しなかった）理由 <複数回答>

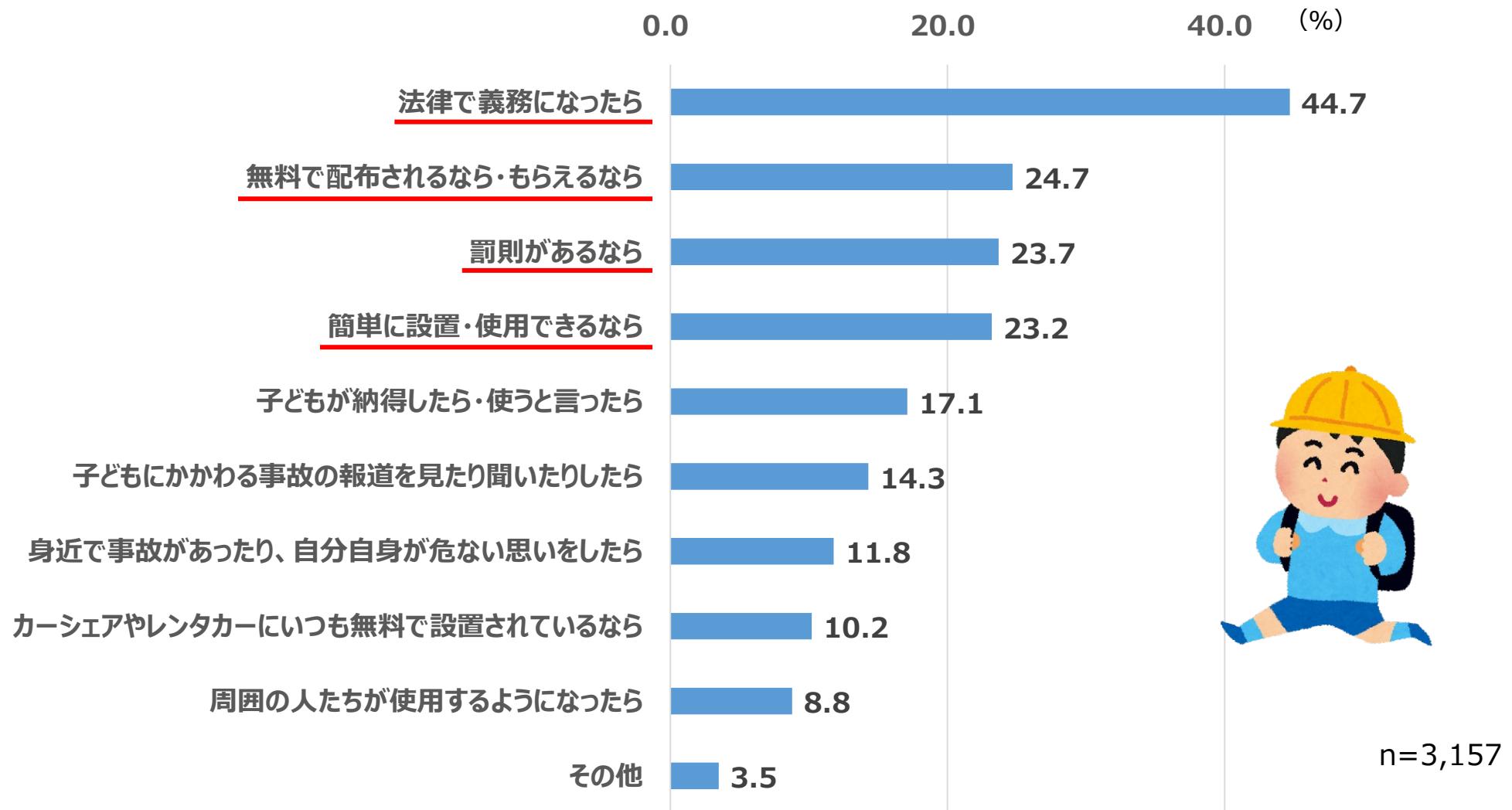
6歳以上の学童用シート使用は義務ではないとの認識から不使用という声が多い。シートベルト過信も。



<6歳以上不使用者>どのような状況になれば、学童用シートを常に使用しようと思うか

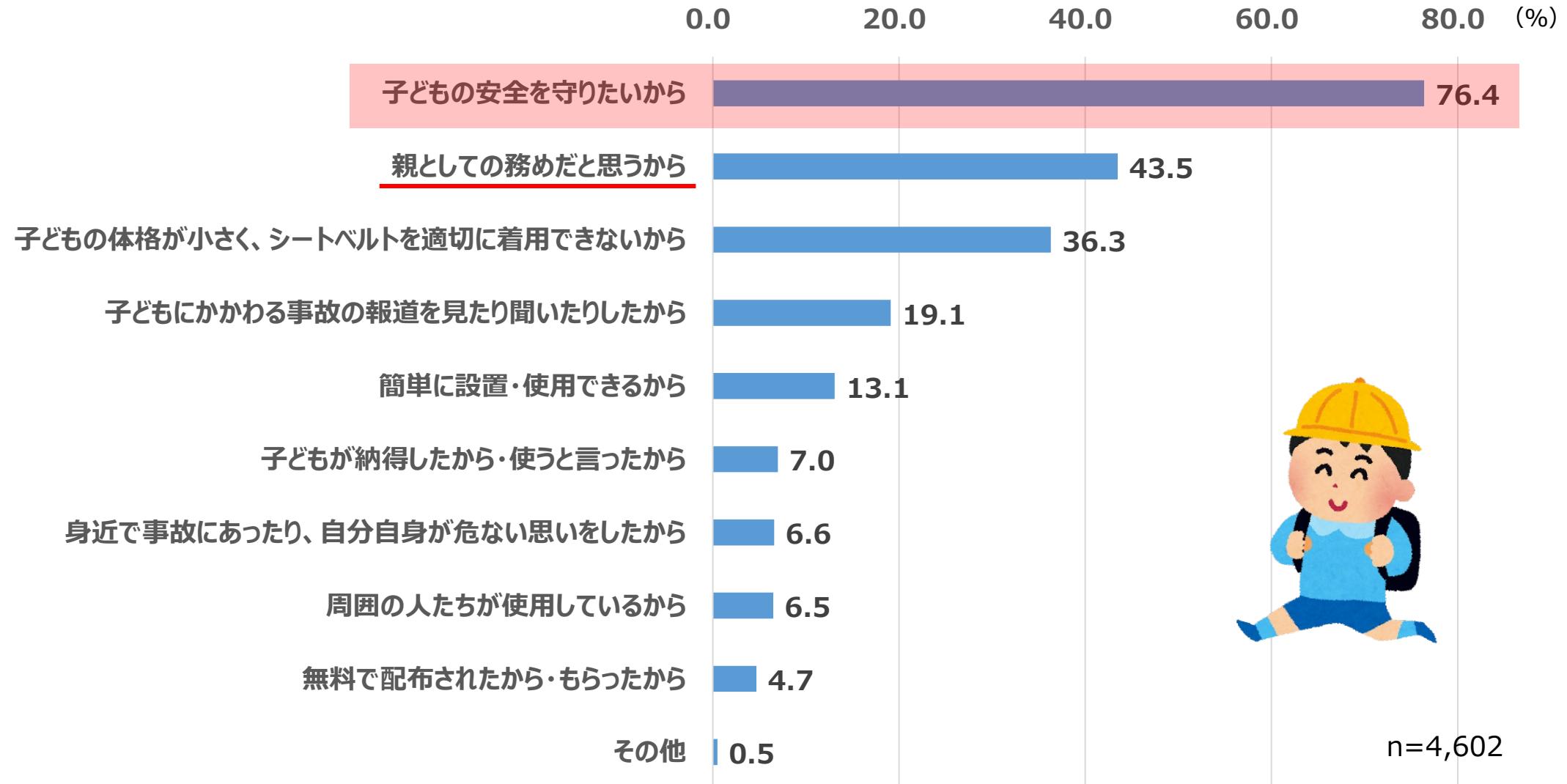
<複数回答>

義務化には一定の効果が見込める可能性。コスト、罰則、設置の簡便性もキーに。



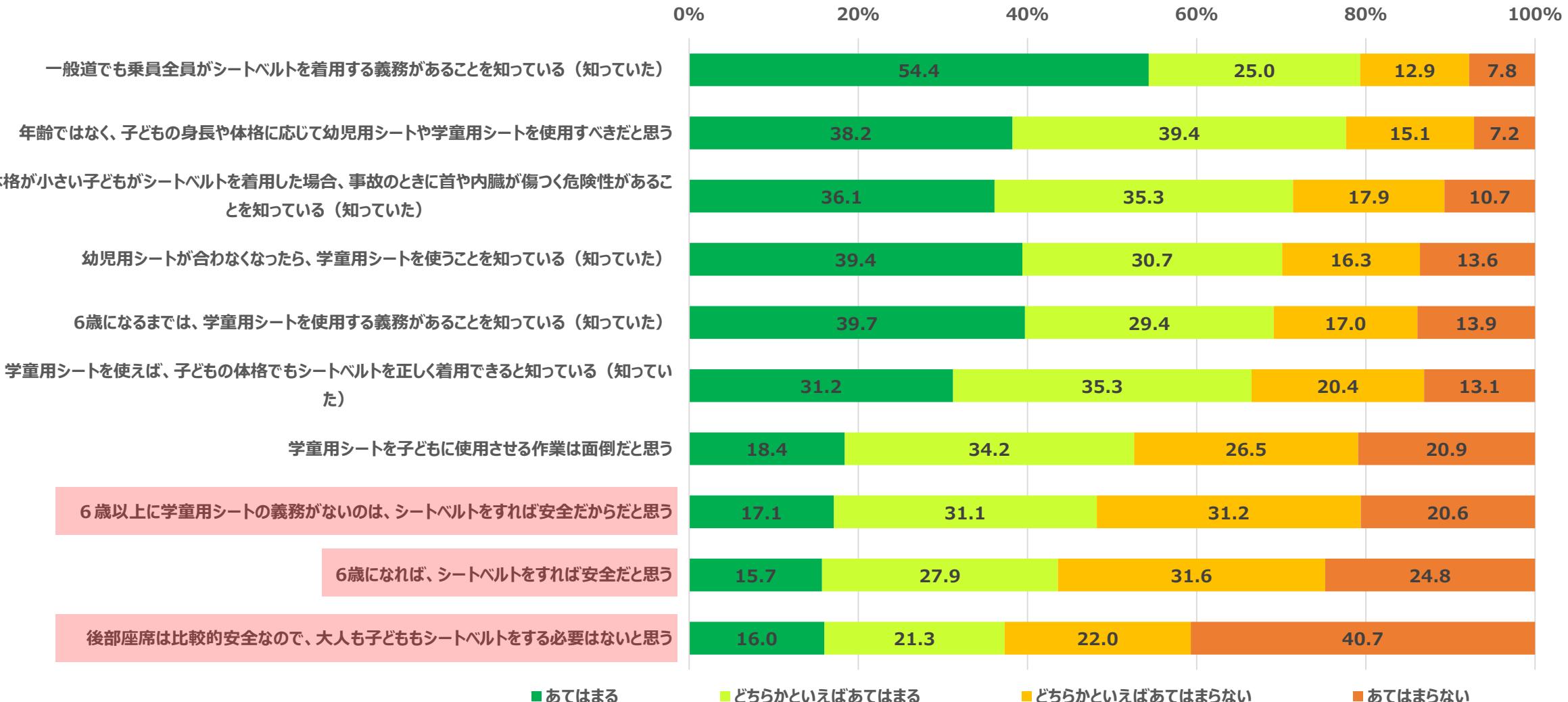
<6歳以上使用者>なぜ学童用シートを使用している（していた）のか <複数回答>

6歳以上の使用者も「子どもの安全を守りたい」「親としての務め」「シートベルトが体形に合わない」など意識が高い。



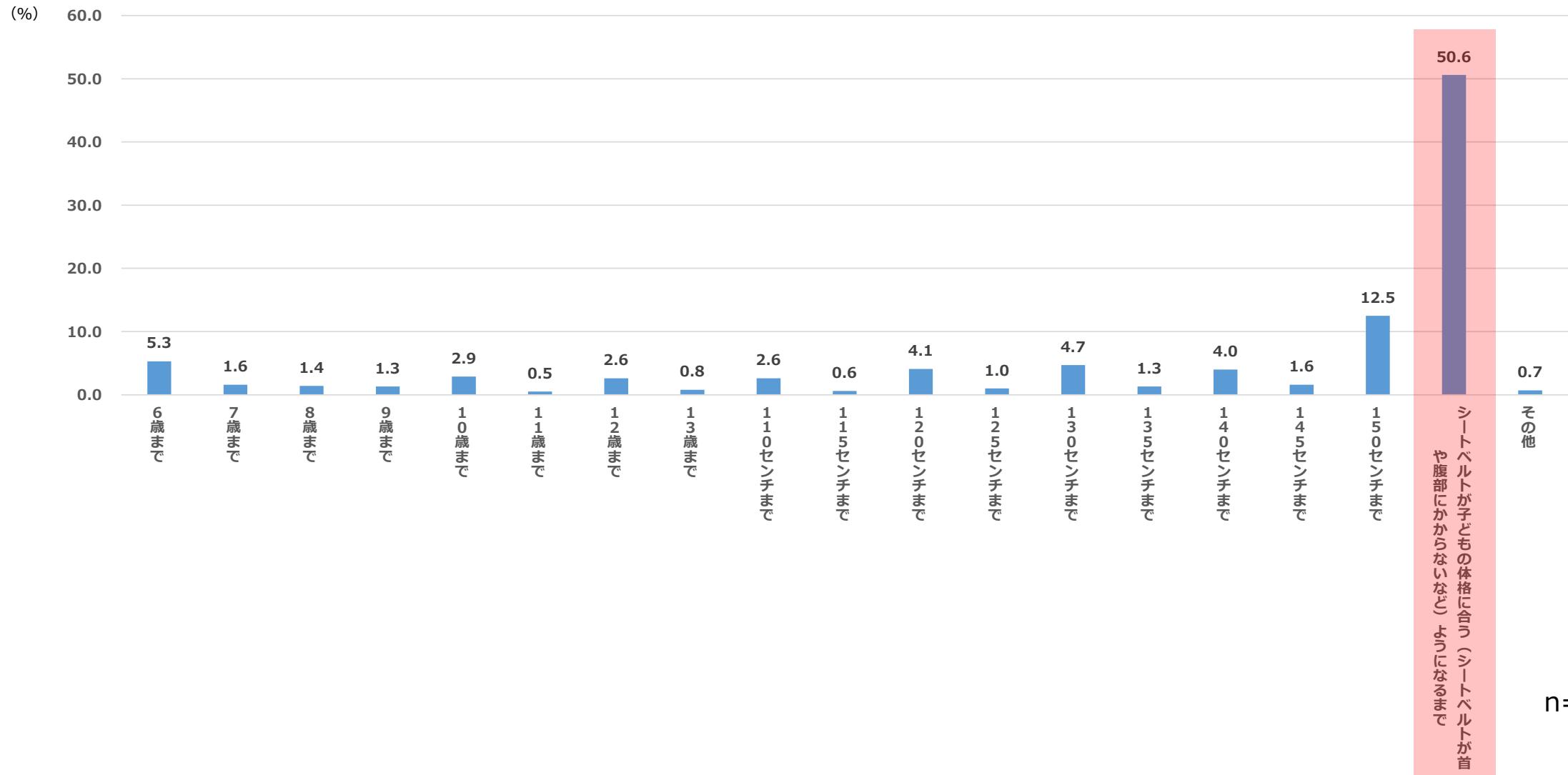
CSR・シートベルトに対する意識・知識

全体的にCRSに対する意識は低くないものの、シートベルトに対する誤認者が一定数存在している。

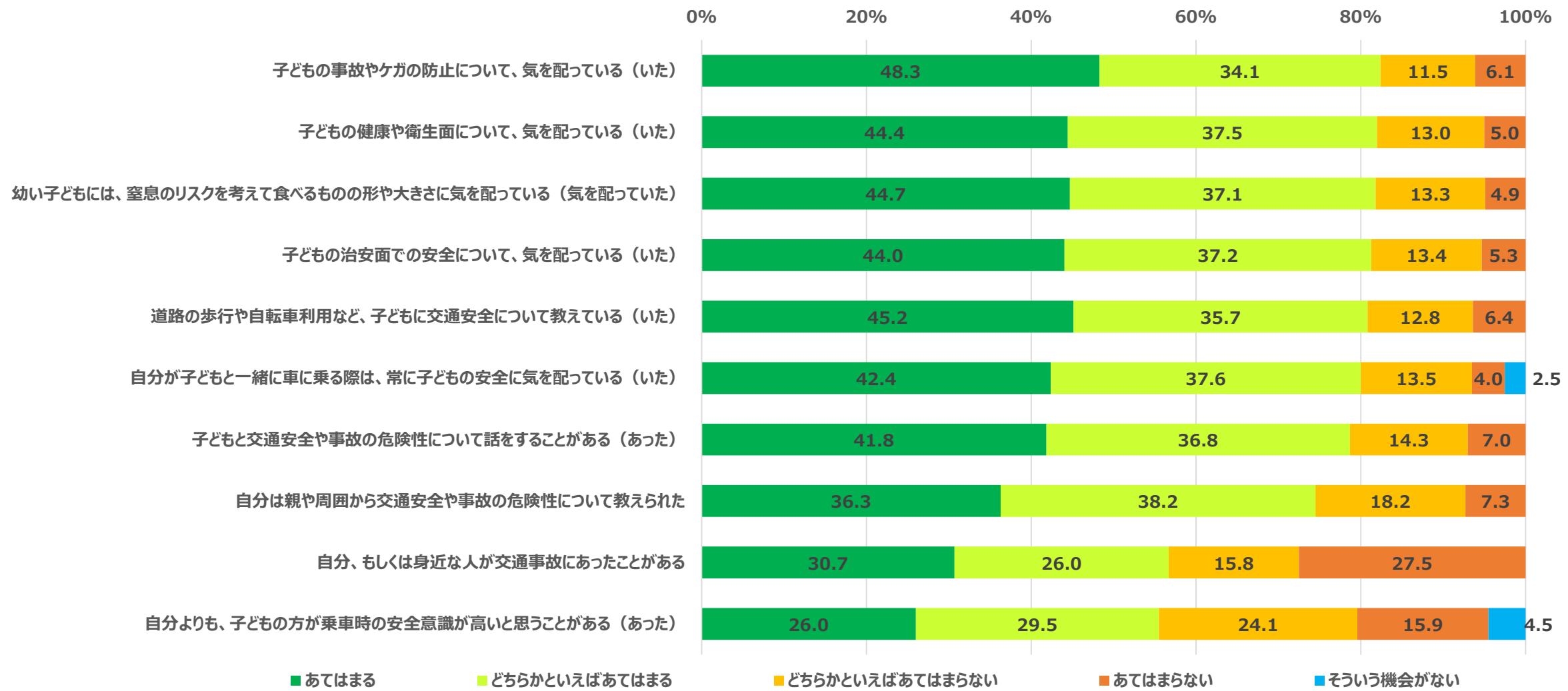


シートベルトを適切に使えるようにする学童用シートは、 いつごろまで使用するのが望ましいと思うか *学童用シートについての情報を回答者に提供の上で

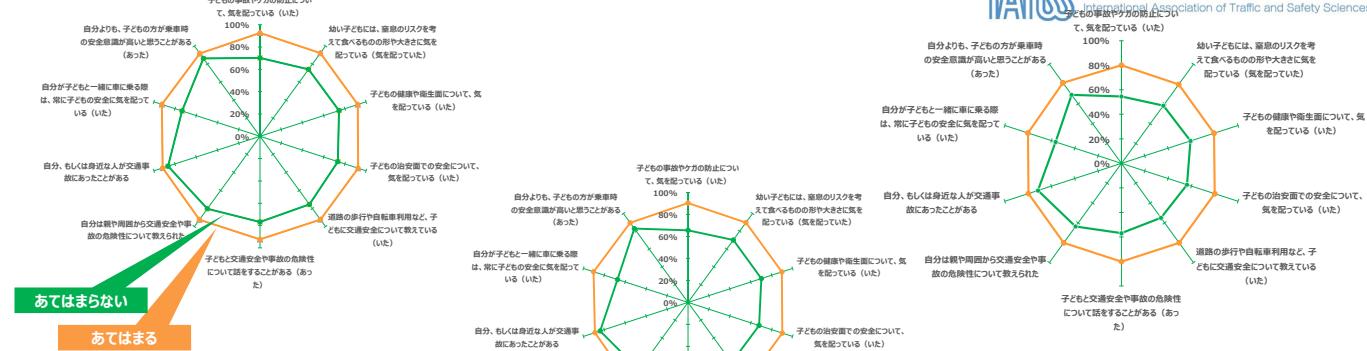
学童用シート使用は年齢や身長で一律にルール化するのではなく、子どもそれぞれに合わせるニーズが高い。



子どもに対するリスク意識



子どもに対するリスク意識とCRS使用 (乳児用・幼児用・学童用シート)



いずれのケースでも、子どもに対するリスク意識が高い人ではCRS使用率が顕著に高い。

特に6歳「未満」の子どもにおける学童用シート使用に影響している可能性がある。

(単位：%)

	子どもの事故やケガの防止について、気を配っている（いた）		子どもの健康や衛生面について、気を配っている（いた）		幼い子どもには、窒息のリスクを考えて食べるものの形や大きさに気を配っている（気を配っていた）		子どもの治安面での安全について、気を配っている（いた）		道路の歩行や自転車使用など、子どもに交通安全について教えている（いた）		自分が子どもと一緒に車に乗る際は、常に子どもの安全に気を配っている（いた）		子どもと交通安全や事故の危険性について話すことがある（あった）		自分は親や周囲から交通安全や事故の危険性について教えてられた		自分、もしくは身近な人が交通事故にあったことがある		自分よりも、子どもの方が乗車時の安全意識が高いと思うことがある（あった）			
	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no
0～1歳くらいの子どもに、乳児用シートを	92.6	70.2	92.2	74.5	92.1	74.1	92.5	73.4	92.2	75.4	92.4	73.4	92.4	76.8	92.3	80.2	91.7	86.6	91.7	86.2		
1～4歳くらいの子どもに、幼児用シートを	90.4	65.6	89.8	70.2	89.7	70.2	90.2	68.0	90.2	67.5	90.3	67.4	90.2	70.8	90.0	75.9	89.0	84.0	89.5	83.0		
6歳「未満」の子どもに、学童用シートを	80.0	54.6	79.4	59.2	79.5	58.2	80.0	56.2	80.1	54.9	80.1	56.4	80.1	56.9	80.1	63.6	79.7	71.5	81.2	69.1		

*「必ず使用する（使用した）」とした人の割合 (%)

n=10,000

子どもに対するリスク意識とCRS使用 (一般道・高速道路別 学童用シート・シートベルト)



いずれのケースでも、子どもに対するリスク意識が高い人ではCRS使用率が顕著に高い。

シートベルトについても、子どもに対するリスク意識が高い人で使用率が高い。

(単位：%)

		子どもの事故やケガの防止について、気を配っている(いた)		子どもの健康や衛生面について、気を配っている(いた)		幼い子どもには窒息のリスクを考えて食べるものの形や大きさに気を配っている(気を配っていた)		子どもの治安面での安全について、気を配っている(いた)		道路の歩行や自転車使用など、子どもに交通安全について教えていている(いた)		自分が子どもと一緒に車に乗る際は、常に子どもの安全に気を配っている(いた)		子どもと交通安全の危険性について話すことがある(あつた)		自分は親や周囲から交通安全や事故の危険性について教えて教えた		自分よりも、子どもの方が運転時の安全意識が高いと感じている(あつた)			
		yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no		
一般道で	6歳「以上」の子どもに、学童用シートを	68.1	48.4	67.8	50.5	67.7	51.2	68.2	48.8	68.2	47.9	68.4	48.2	68.1	49.7	68.8	53.0	69.0	59.8	71.1	56.4
	6歳「未満」の子どもに、シートベルトを	80.6	52.6	80.0	56.8	79.6	59.2	80.5	54.8	80.3	54.6	80.5	55.4	80.2	57.5	80.1	64.4	79.6	72.3	80.7	70.1
	6歳「以上」の子どもに、シートベルトを	80.6	54.9	80.1	58.9	79.7	61.2	80.3	57.9	80.3	56.3	80.7	56.2	80.2	59.2	80.2	65.6	79.9	72.6	80.8	70.9
高速道路で	6歳「以上」の子どもに、学童用シートを	72.3	48.8	71.7	53.1	71.7	53.6	72.0	51.4	72.2	49.5	72.3	50.5	72.0	52.8	72.5	56.6	72.2	64.2	74.7	60.2
	6歳「未満」の子どもに、シートベルトを	84.5	56.4	83.7	61.6	83.4	63.4	84.1	59.6	84.3	57.6	84.5	57.8	84.1	61.2	83.7	69.1	83.2	76.3	83.9	74.9
	6歳「以上」の子どもに、シートベルトを	85.6	59.4	84.8	64.6	84.7	65.7	85.3	61.7	85.4	60.2	85.6	60.8	85.1	64.2	85.0	70.7	83.7	79.0	85.0	76.8

*「必ず使用する（使用した）」とした人の割合 (%)

n=10,000

学童用シートに対する意識 <複数回答>

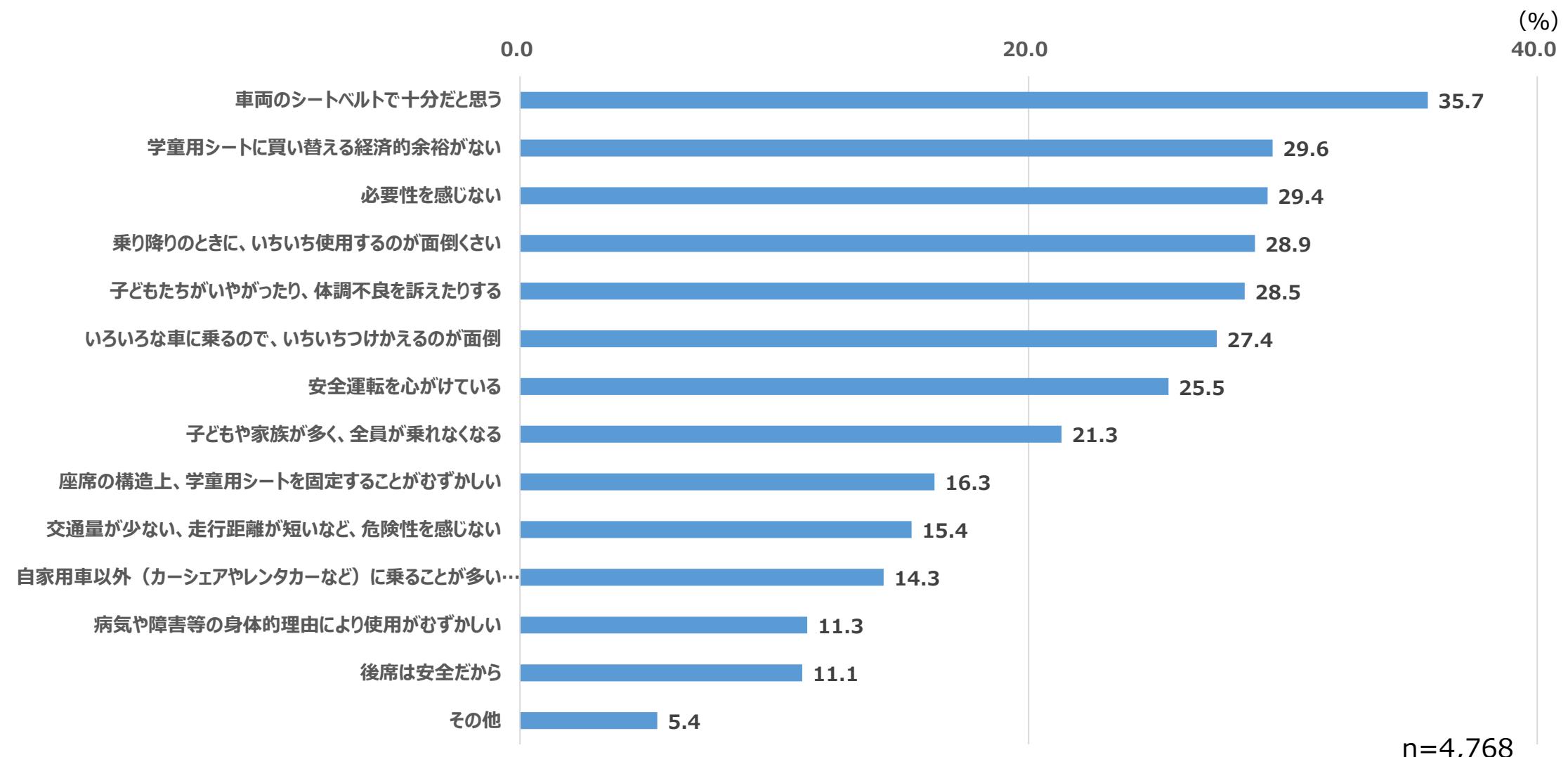
学童用シートにおける取り決めを知らない人が3割弱、4人に1人が一律年齢区切りに不満。



n=10,000

学童用シートの義務化に「賛成ではない」理由 <最もあてはまるもの3つ>

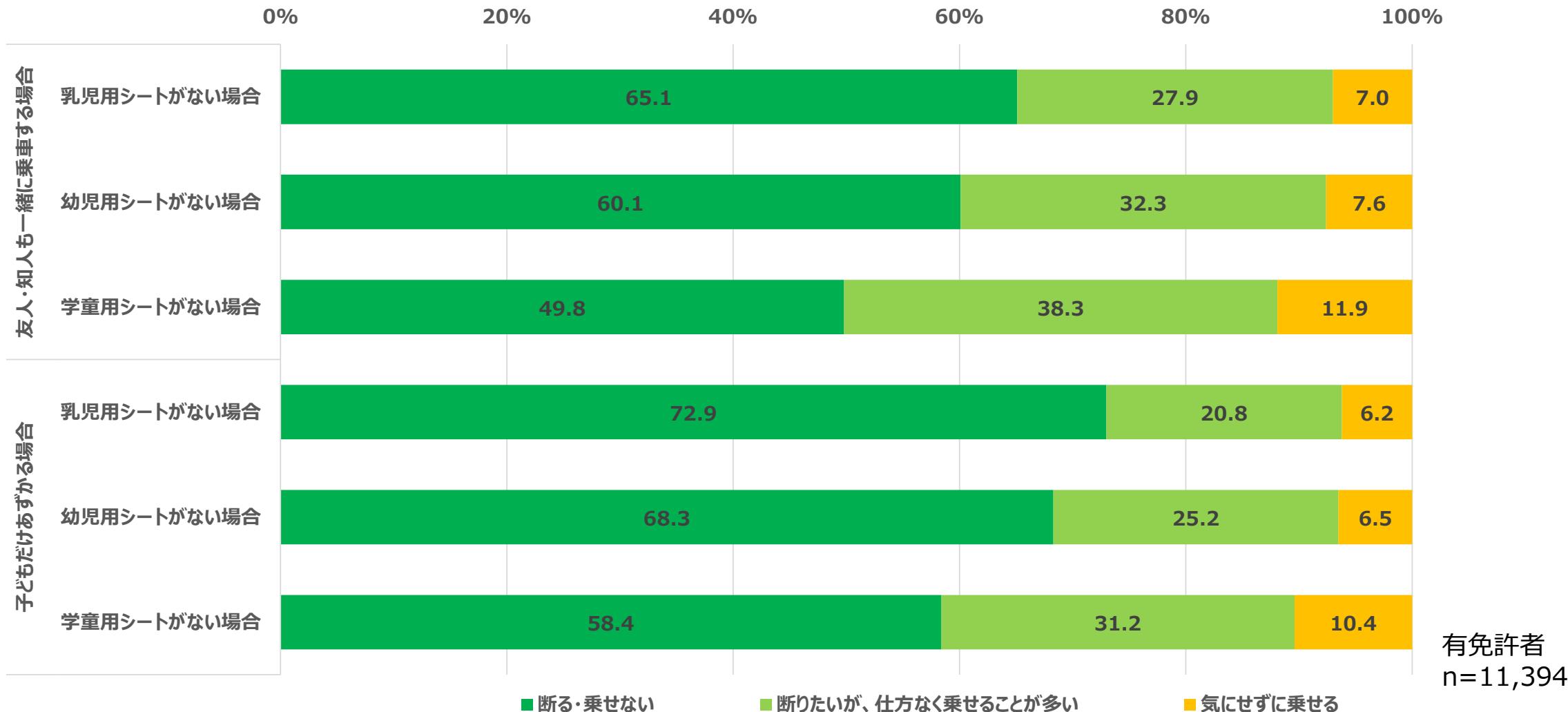
車両のシートベルトで学童用シートを代替できると考えている人が多い。コストがかかる、面倒という声も。



自分が運転する車に、チャイルドシート（乳児用、幼児用、学童用）がないとき、友人や知人から彼らの子どもを乗せてほしいと頼まれた際の対応。

友人・知人も一緒に乗車する場合／友人・知人は乗車しない場合（子どもだけあずかる場合）

乳児用シートがない場合は断るケースが多いものの、学童用シートについてはなくとも載せてしまうケースが多い。

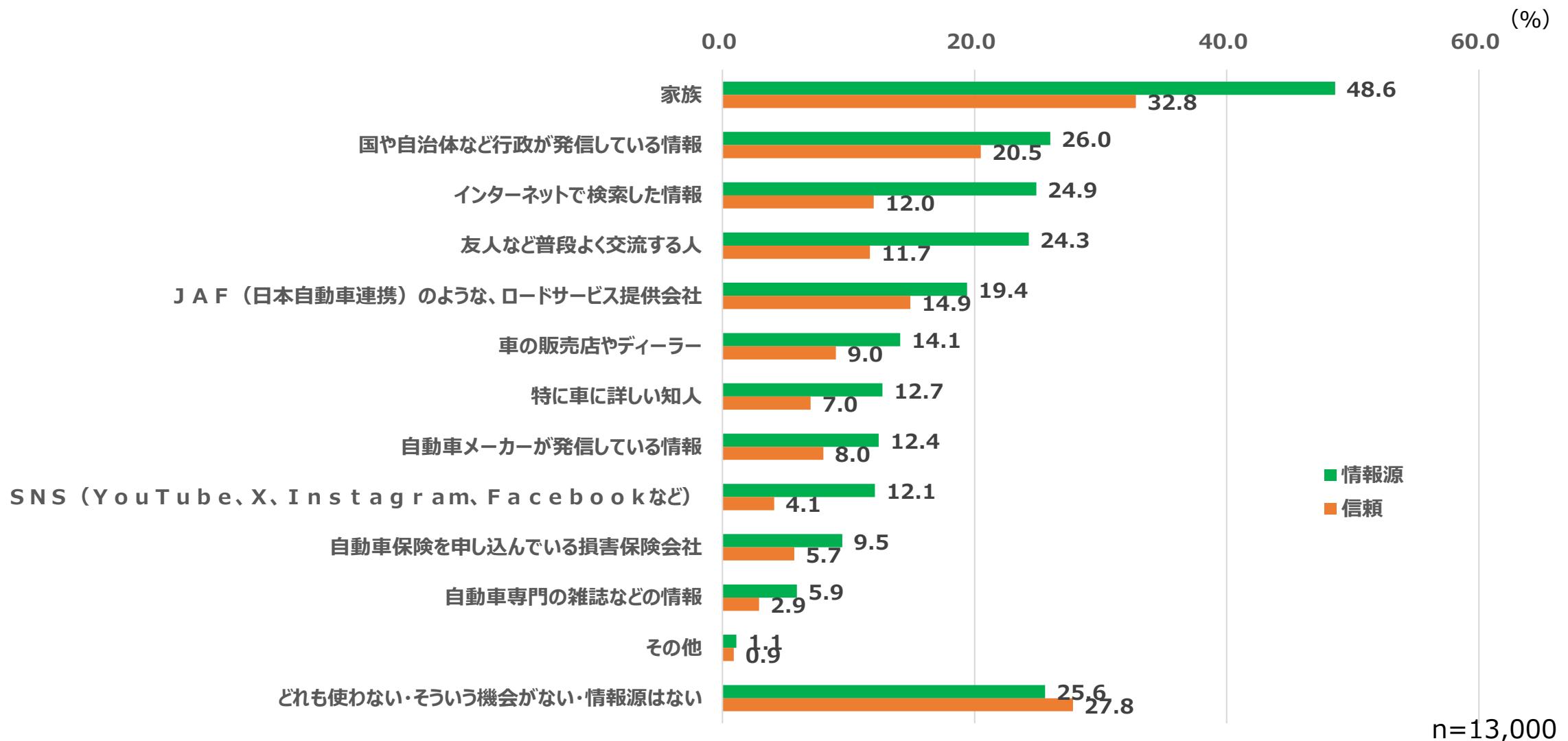


アンケート調査結果②

情報源と信頼性

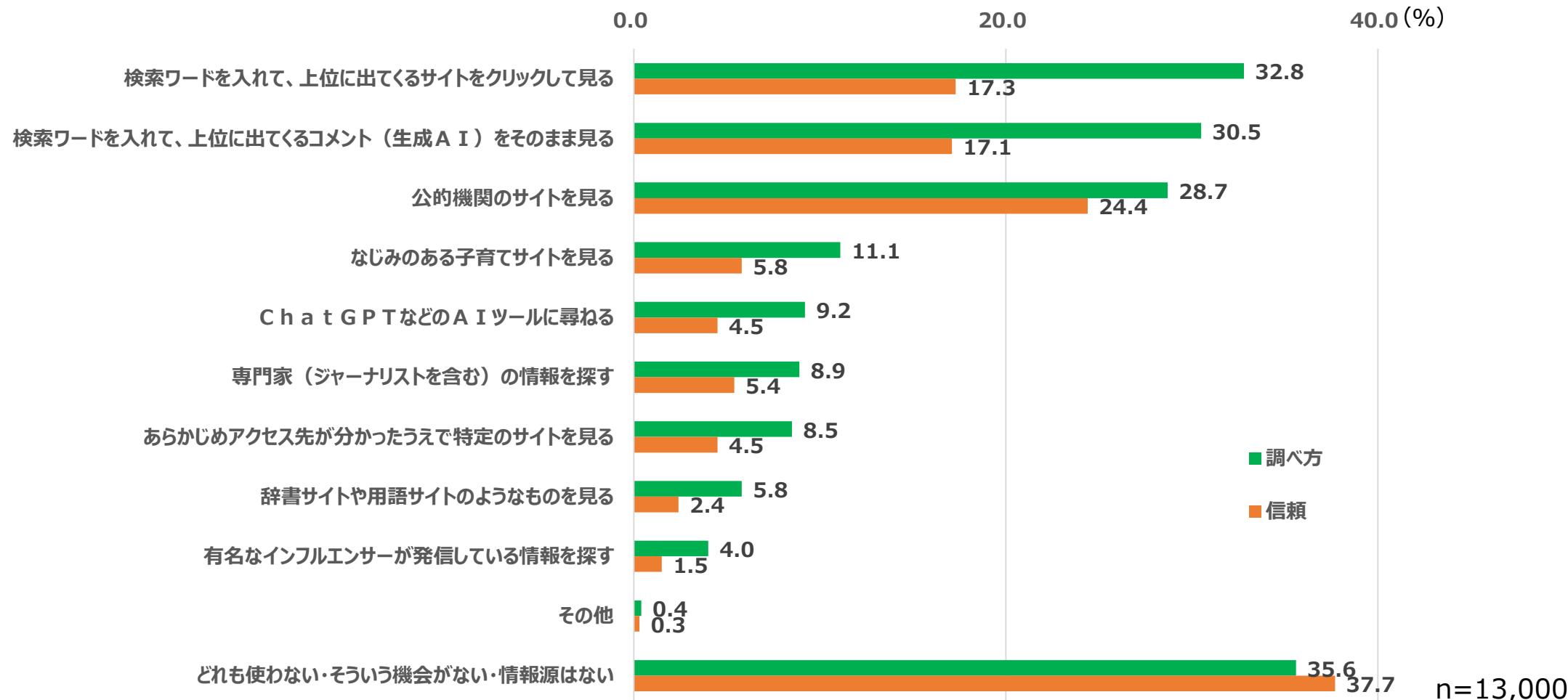
車の運転や乗車時の安全に関する情報源・信頼できると思う情報源 <複数回答>

家族に次ぐ情報源であり、家族の次に信頼性が高いのが「国や自治体など行政が発信している情報」。



インターネットでの、車の運転や乗車時の安全に関するこの調べ方・信頼できる情報源 <複数回答>

ネット検索で調べることが多いものの、信頼性が最も高いのは「公的機関のサイト」。



チャイルドシート（幼児用、乳児用、学童用）関連情報収集経験の有無 (年代・世帯年収・都市規模別)

年代別

	20代	30代	40代	50代
ある	39.8%	48.5%	47.4%	33.5%
ない	60.2%	51.5%	52.6%	66.5%

世帯年収別

	~400万円未満	400~600万円未満	600~800万円未満	800~1,000万円未満	1,000万円~
ある	31.0%	45.0%	52.5%	54.5%	60.1%
ない	69.0%	55.0%	47.5%	45.5%	39.9%

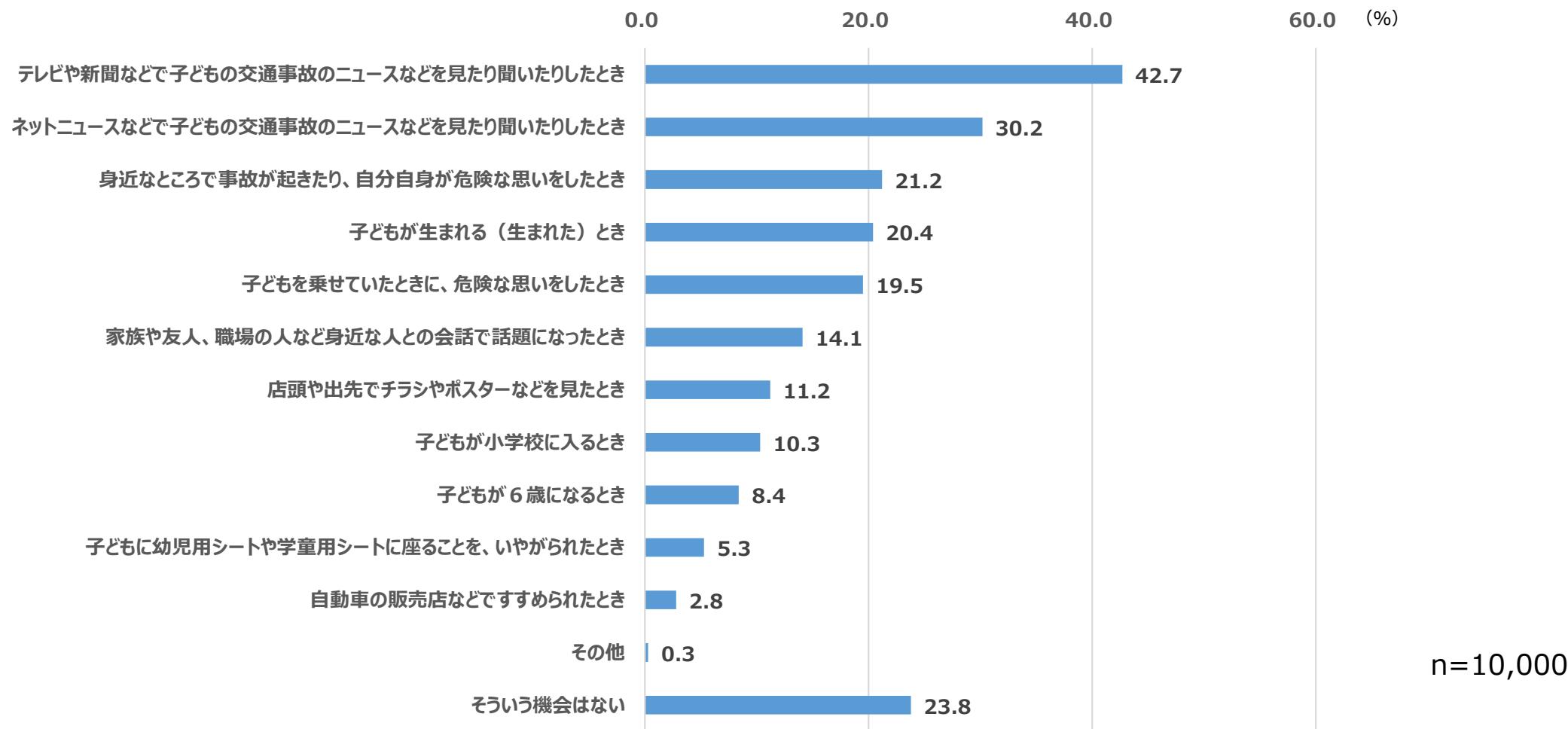
都市規模別

	東京都区部、政令指定都市	人口30万人以上の都市 (東京都区部、政令指定都市以外)	人口10~30万人未満の都市	人口10万人未満の市	町、村
ある	45.30%	49.9%	49.8%	43.7%	44.1%
ない	54.70%	50.1%	50.2%	56.3%	55.9%

n=10,000

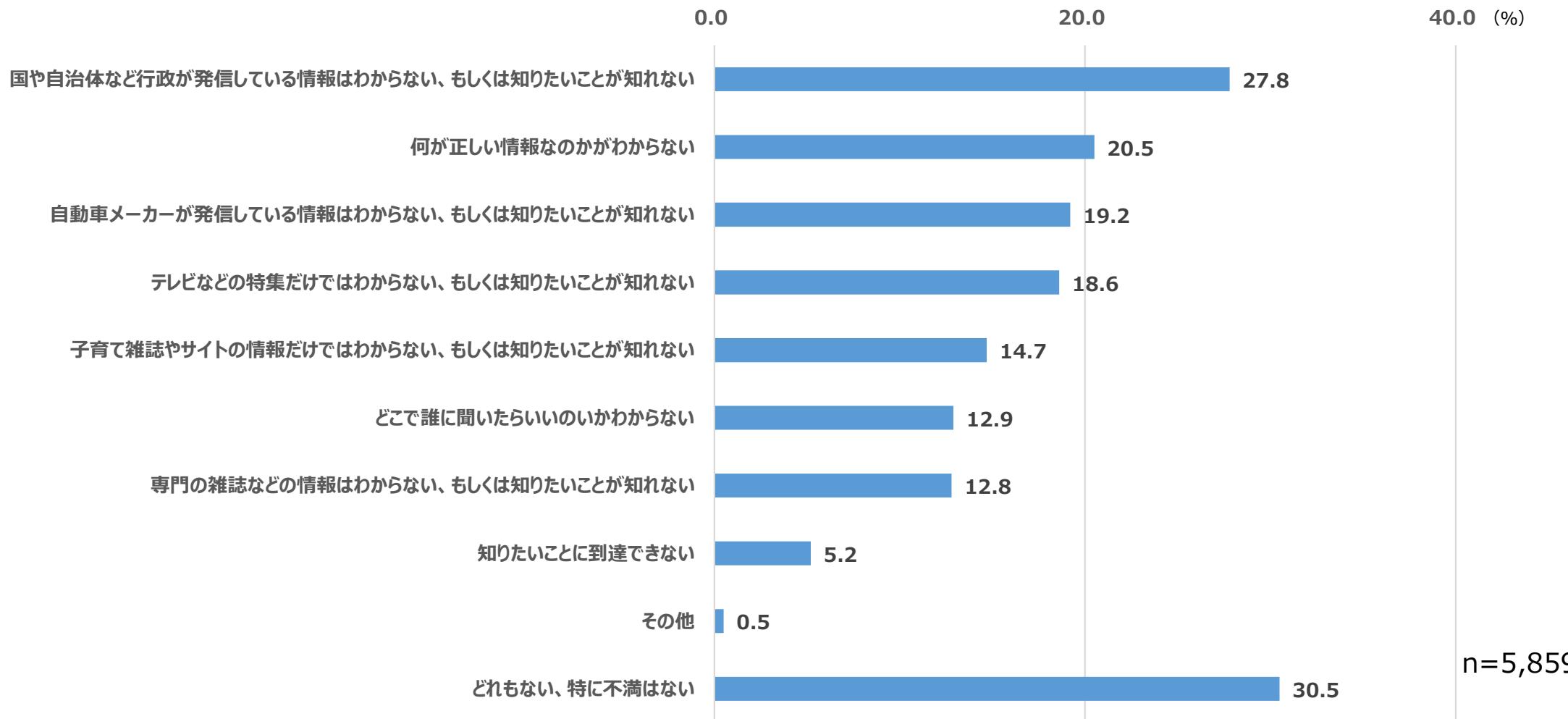
チャイルドシート（幼児用、乳児用、学童用）の情報収集（チャイルドシートの選び方や着脱の方法、安全性など）を行うタイミング <複数回答>

情報収集のタイミングとして最多なのは「子どもの交通事故のニュースを見聞きしたとき」。



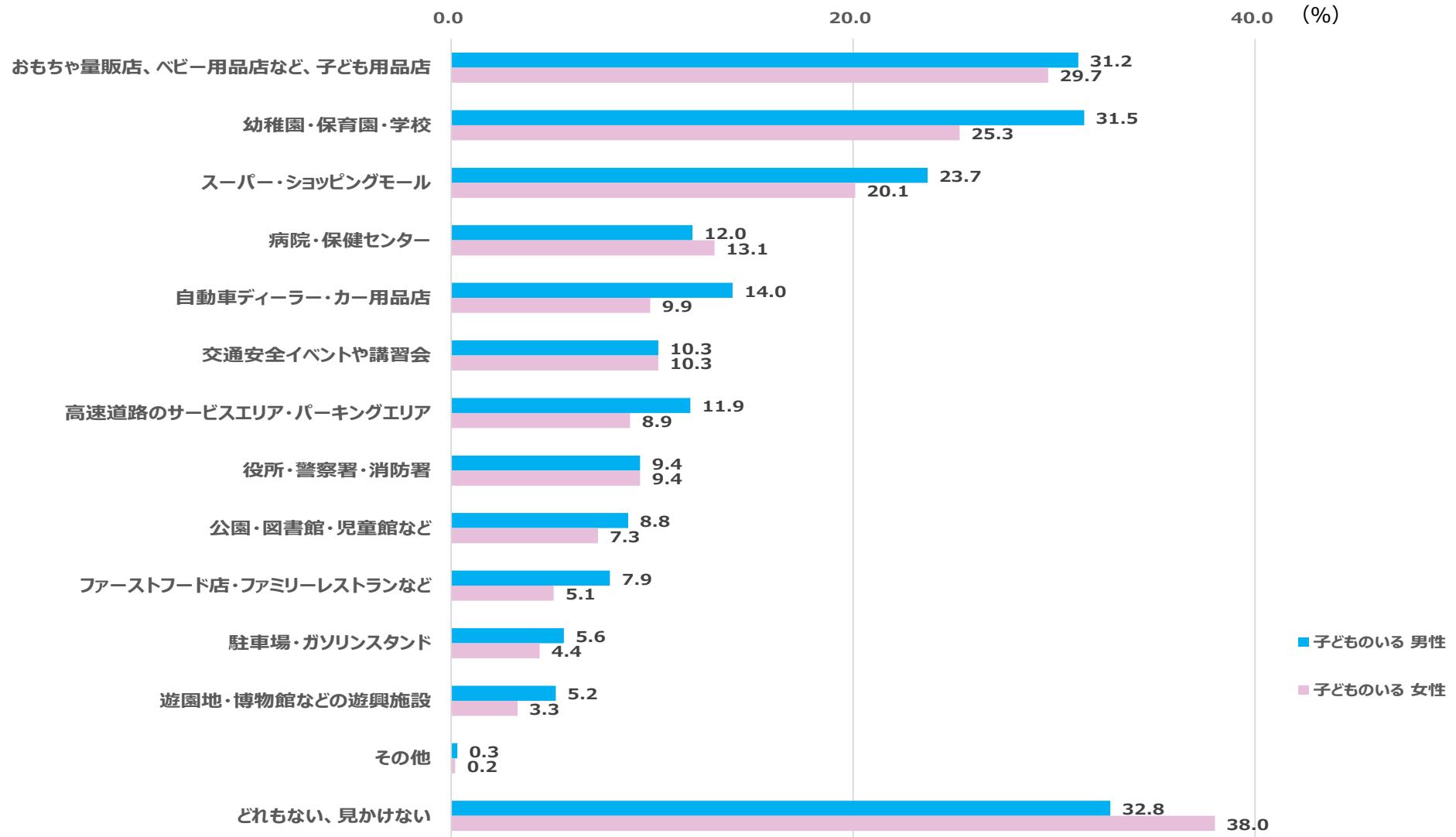
チャイルドシート（乳児用、幼児用、学童用）について調べた際の不満 <複数回答>

不満内容は「行政の発信している情報はわからない、もしくは知りたいことが知れない」とする人が最多。



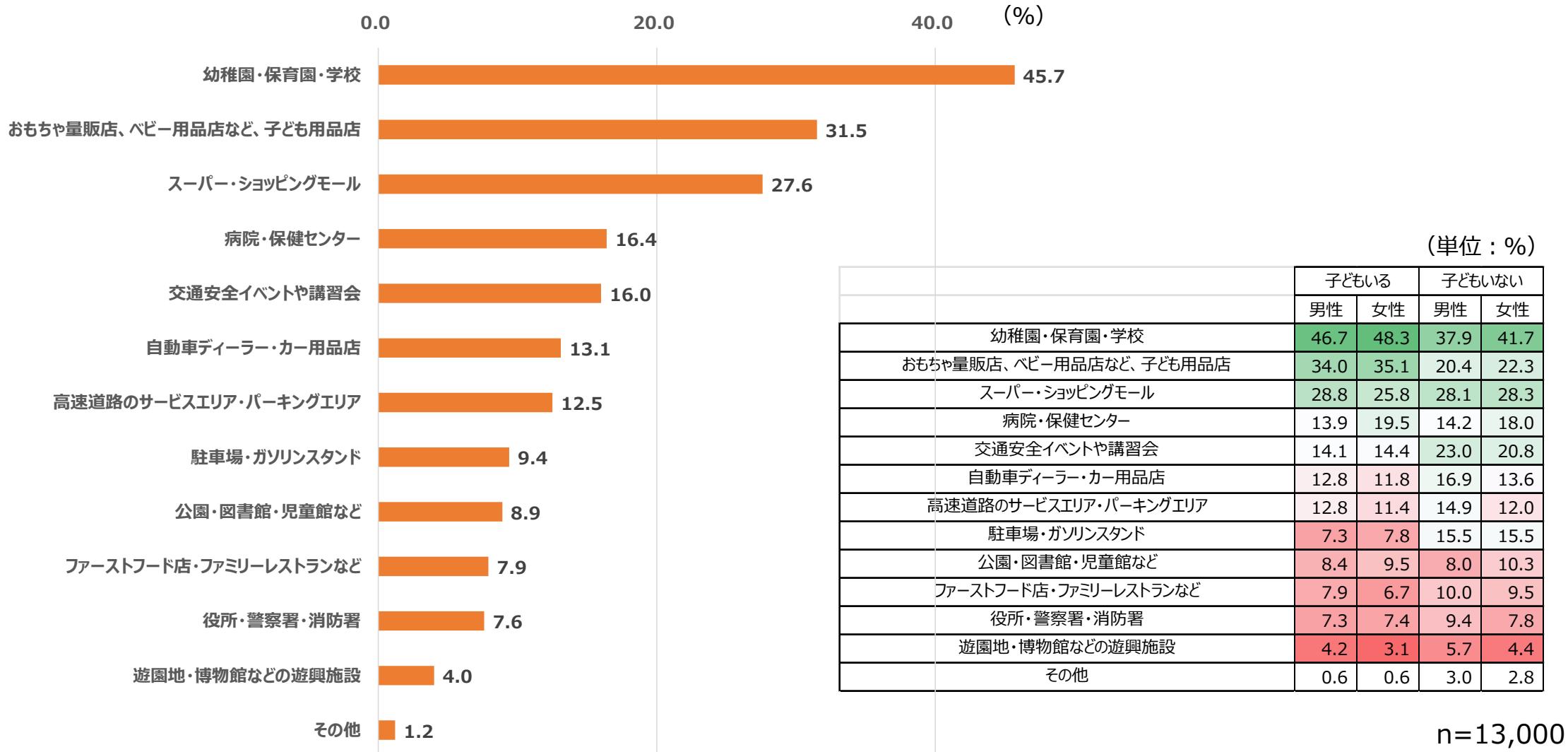
チャイルドシート（乳児用、幼児用、学童用）に関するポスター遭遇経験 <複数回答>

母親より父親の方がポスターを見かけると回答。



ポスター掲示において特に効果的だと思う場所 <最もあてはまるもの3つ>

「幼稚園・保育園・学校」での交通安全教育が効果的か。「子ども用品店」や「スーパー・ショッピングモール」も。



子どもの安全意識はどの年齢層で期待できるのか

子どもが小さい頃の方が子どもの安全意識が高いケースも。

特に女児では幼児期から小学校低学年くらいで安全意識が高い傾向がある。男児は小1と高学年で安全意識が多い。

		息子1の年齢									娘1の年齢								
		0～3歳未満	3歳から小学校入学前	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	それ以上	0～3歳未満	3歳から小学校入学前	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	それ以上
自分よりも、子どもの方が乗車時の安全意識が高いと思うことがある（あった）	あてはまる	27.0%	27.4%	26.9%	26.0%	23.8%	26.4%	28.0%	25.4%	23.0%	24.0%	28.2%	29.4%	27.3%	27.1%	25.5%	24.3%	26.9%	23.7%
	どちらかといえばあてはまる	27.8%	27.9%	31.4%	28.3%	30.1%	31.2%	29.6%	31.4%	30.1%	28.7%	30.0%	29.4%	30.8%	31.6%	29.3%	32.4%	30.0%	30.3%
	どちらかといえばあてはまらない	16.9%	24.1%	25.6%	26.4%	26.7%	25.2%	22.7%	27.4%	26.9%	16.8%	21.9%	22.8%	24.2%	25.5%	27.6%	25.8%	27.2%	26.9%
	あてはまらない	17.1%	17.2%	13.2%	17.3%	16.1%	14.5%	15.0%	12.5%	17.3%	19.9%	16.6%	15.0%	14.5%	12.7%	14.3%	16.6%	12.7%	16.2%
	そういう機会がない	11.3%	3.4%	3.0%	2.0%	3.4%	2.7%	4.8%	3.4%	2.7%	10.7%	3.4%	3.3%	3.3%	3.1%	3.3%	1.0%	3.2%	2.9%
「あてはまる」の合計値		54.7%	55.3%	58.3%	54.3%	53.8%	57.6%	57.6%	56.7%	53.1%	52.7%	58.2%	58.9%	58.0%	58.7%	54.8%	56.6%	56.9%	54.0%

ご清聴ありがとうございました



公益財団法人 国際交通安全学会
International Association of Traffic and Safety Sciences